

(別紙)

## 社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	・ 磐田市における住宅セーフティネットの構築と住環境の向上 （地域住宅計画） ・ 磐田市における住宅セーフティネットの構築と住環境の向上 （地域住宅計画（防災・安全））
② 都道府県名	静岡県
③ 計画作成主体	磐田市
④ 計画期間	平成 22 年度 ～ 27 年度
⑤ 計画の目標	・ 市営住宅の整備を行い、耐震性能等に優れた安全で良質な住宅ストックを形成する。 ・ 住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安心できる住まい・まちづくりを実現する。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	磐田市において評価を実施
⑦ 事後評価の結果	指標①：「耐震性が確保された市営住宅の割合」 定 義：耐震性が確保された市営住宅戸数の割合 評価方法：市営住宅の状況に基づく数値 結 果：従前値：76%（平成 22 年度）⇒目標値：78%（平成 27 年度）⇒実績値：78% 結果の分析：東大久保団地 B C 棟は、建設を延伸したため評価しない。 指標②：「市営住宅におけるバリアフリー化住宅の割合」 定 義：市営住宅におけるバリアフリー化された戸数の割合 評価方法：市営住宅の現状に基づく数値 結 果：従前値：15%（平成 22 年度）⇒目標値：20%（平成 27 年度）⇒実績値：15% 結果の分析：東大久保団地 B C 棟は、建設を延伸したため評価しない。 指標③：住宅の耐震化率を 90%に上げる。 定 義：（住宅の耐震化率）＝（耐震性が確保された市内の住宅数）／（全住宅数）％ 評価方法：住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 結 果：当初現況値：78% ⇒ 最終目標値：90% ⇒実績値：81%（平成 25 年住宅土地統計調査による） ※推計値：82%（平成 27 年度末） 結果の分析：平成 25 年度に行われた直近の住宅・土地統計調査（総務省）では、実績値 81%と、従前値に比較して 3 ポイント改善されており、着実に取組みの成果が上がっている。
⑧ 結果の公表方法	ホームページ
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	良質な住環境が整備された市営住宅ストックの維持形成を図る。 次期住宅計画は下記のとおり 1. 計画期間：平成 28 年度から平成 32 年度 2. 目標値： ①市全体の市営住宅戸数に占める、バリアフリー化している市営住宅戸数の割合…25% ②建設後 15 年以上が経過した、RC 造の集合型市営住宅の内、外壁塗装工事が実施された戸数の割合…7%
⑩ その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。